

ANNUAL REPORT 2021

大妻女子大学総合情報センター 年報

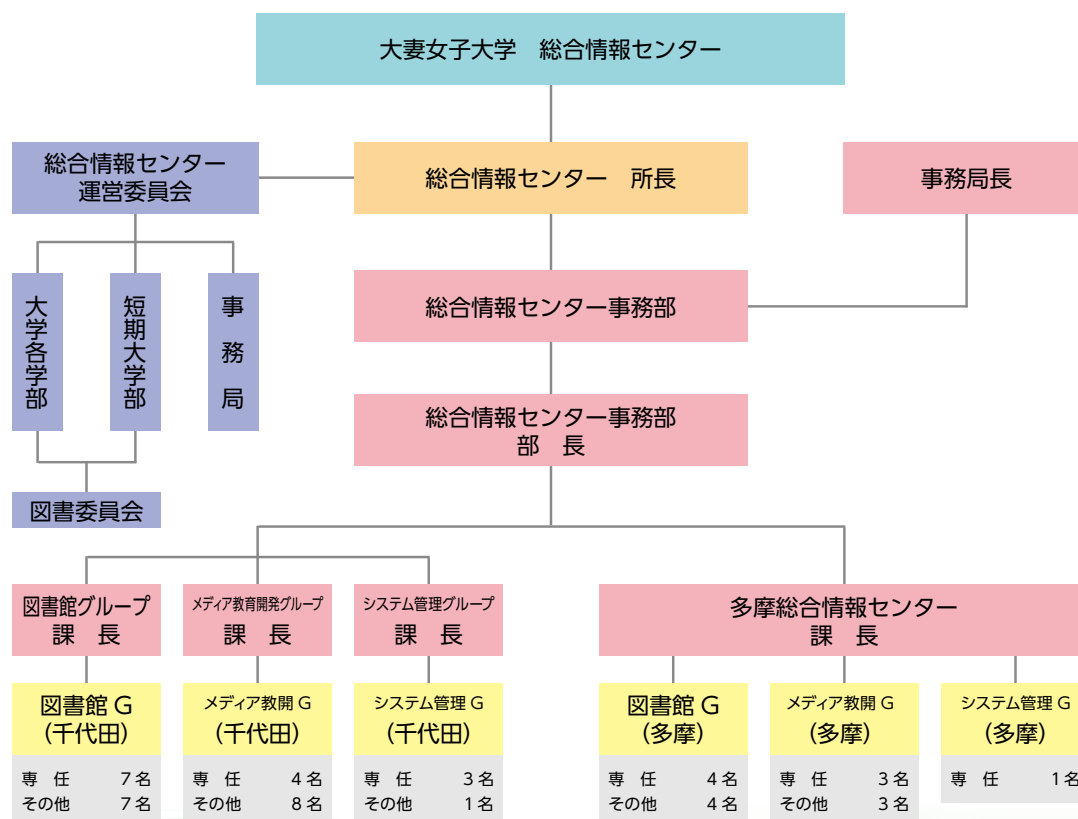
令和3年度 第 14 号



大妻女子大学総合情報センター一年報 令和3年度 第14号 目次

総合情報センター組織

4月1日現在



所長あいさつ／総合情報センターの概要



総合情報センター
所長 山倉 健嗣

副学長・総合情報センター所長の山倉健嗣です。新型コロナウイルス感染が引き続いていますが、まだ正常な状態になったとは言えませんが、職員の皆様の多大なご尽力により、令和3年度（2021年度）の年報が出来上がりました。ぜひご覧ください。

総合情報センターは、本学における教育・研究機能を充実、発展させるための様々な活動の支援と、学生サービス向上に向けた情報資源の活用や、学内インフラ整備、事務処理に関する情報管理の整備・効率化を担うことを目指しています。急速に展開する情報化に対応する本学院の中核として努力をしています。現在図書館、メディア教育開発センター、システム管理グループの3部門からなる組織として運営されています。

令和3年度も新型コロナウイルス感染に対して、当センターも適切な対応が求められました。対面授業8割、オンライン授業2割の全学的方針のもと、オンライン授業の実施に際して、昨年度に引き続きオンラインで利用されるサービス（Zoom, Google Meet）の継続およびそのサポートを行いました。またオンライン授業用にPCを希望した学生特に1年生にPCの貸与を行い、PCに関する問い合わせ対応、サポート業務を行いました。また令和4年度入学生向けに本学が推奨するパソコンの仕様を昨年度に引き続き提示しました。情報戦略会議によって重点的に取り組むべき課題であった、無線LAN整備を全学的に実施したことも報告します。

図書館では、短縮開館となりましたが、学生や教員の学習、研究、授業支援のため、配送による図書貸出、貸出期間の延長、電子図書の充実、見学ツアー・文献検索ガイダンスの対面・オンラインでの実施などの取り組みを行いました。昨年度は実施できなかったラーニングコモンズ・イベントをオンラインで実施しました。千代田校

図書館4階にオンライン授業・就職活動のため、個室型ワークブース「テレキューブ」を2台設置しました。

当センターでは補完教育として、課外パソコン講習及び課外英語力強化プログラムの運営業務を担当しています。課外パソコン講習は学生の情報処理に関する知識の習得とPCスキルの向上、認定資格の取得を目的として実施されています。令和3年度は19講座開講し、延べ336名が参加しました。課外英語力強化プログラムは学生が正課授業の履修状況に合わせて、スケジュールを各自で作成する英語プログラムで、令和3年度の受講生は131名でしたが、20年間にわたり当センターが担ってきた運営業務は令和3年度で終了し、令和4年度からは国際センターへ引き継がれることになりました。

当センターは新型コロナウイルス感染の継続という状況に対し、従来以上に3部門が協力し、情報環境の進展や利用者のニーズ、本学院の方向を勘案し、サービスの改善に努めていきます。センターと関連する教育支援センターなどと連携し、本学の教育・研究の充実に努めてまいります。今後とも当センターの運営につきまして引き続き、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

総合情報センター設置の背景

平成19年1月の学校法人大妻学院将来構想検討委員会答申において、高度情報化に対応し、情報管理の整備と効率化を図りながら、大学の教育・研究機能の充実発展のための支援及び学生サービスの向上を目的とした大学組織の中核となりうる組織を編制することが求められました。これを受け、それまで別の組織として運営されていた図書館と情報メディアセンターが平成20年4月に統合され、総合情報センターとして新たに発足しました。

学校法人と大学に亘る業務分掌上の調整を鑑み、発足時は基本機能の1つとされていた学内のIT化戦略とインフラ整備に関する業務を事務局のシステム管理室が担当することとなりましたが、同室が平成27年4月に組織改変に伴って合併されたことにより、本センターは、図書館、メディア教育開発センター、システム管理グループの3部門を有する組織となりました。

現在、本センターでは、本学における高度情報化社会に対応した教育・研究機能の充実と発展のために必要な図書・雑誌、電子情報、その他各種資料の収集・組織化・保管に関する業務、並びに情報メディア環

境を活用した教育・学習活動などへの支援とこれに付随して必要となる開発業務、及び情報環境基盤の整備に関する業務を行っています。

図書館では、従来の図書・雑誌などの紙媒体を中心とした資料の提供はもとより、社会の情報化、ネットワーク化に伴い、紙媒体と電子媒体を融合した、より高度な学術情報提供サービスを行っています。また、他大学図書館との相互協力により、国内外の資料も利用者の求めに応じ、迅速に提供しています。

メディア教育開発センターでは、情報教育、言語教育、視聴覚教育、e-learning、遠隔授業など、情報メディア環境を活用した教育システムの開発と、それらを利用する教育・学習・研究活動への支援、また、メディアリテラシーの推進を主な業務とし、必要な施設・設備の企画・設計、維持・管理・運用、ソフトウェアの開発・制作などを行っています。

システム管理グループでは、学院全体のネットワークインフラや情報システムの管理・運用を主な業務とし、本学における教育研究活動の高度情報化を目指して、学院を支える情報環境基盤の整備・管理・運用を行っています。

■ 基本方針 ■

1. 高度情報化社会に対応し、書籍やデータベースの整備と一元管理を行う
2. 情報化社会に対応したIT環境の整備と機能の強化を図る
3. 授業のサポート及び教材の制作を行う
4. 学生の学習環境を充実させる
5. e-learningコンテンツの作成・運用・管理を行い、大学教育と密接な役割を担う

■ 基本機能 ■

1. 図書・雑誌・電子情報・各種資料などの収集及び一元管理
2. 学院のIT化戦略・インフラ整備
3. 授業支援・教材制作
4. 学生の自己学習・補完教育支援
5. 学内情報システムの保守管理

総合情報センター業務報告

1 総合情報センター運営委員会

- 1) 第1回総合情報センター運営委員会（5月31日から6月3日 文書協議）
- 2) 第2回総合情報センター運営委員会（9月17日から9月24日 文書協議）

第1回総合情報センター運営委員会は、5月31日（月）から6月3日（木）にかけてメール配信による文書回覧にて実施され、部門計画予算（配賦外）採択結果について報告がなされた。また、各グループの前年度業務報告、決算報告、本年度業務計画、経常費予算案について審議がなされ、承認された。

第2回総合情報センター運営委員会は、9月17日（金）から9月24日（金）にかけてメール配信による文書回覧にて実施され、令和4年度総合情報センター部門計画予算（配賦外）申請（案）について審議がなされ、承認された。

■ 部門計画予算（配賦外）採択結果（要望に基づく執行承認内容）

図書館グループ

件 名
千代田校 図書館 貴重書庫設置工事
多摩校 図書館 メディアルームシステムメンテナンス作業
ディスカバリー・サービス“Summon”の導入
千代田校 図書館 3階開架書架 書架照明交換工事
千代田校 図書館 個人ブース整備
千代田校 図書館棟 電動書棚基盤・液晶ディスプレイ交換

メディア教育開発グループ

件 名
千代田校 E棟 E352,E356,E棟サーバ保守費
千代田校 大学校舎A棟視聴覚教室（A266教室）年間保守契約
千代田校 大学校舎A棟A650教室年間保守契約
情報戦略会議 旧情報システムのクラウド化検討ワーキンググループ メディア教育開発グループへ移管されたeVDI保守料増額
千代田校 E棟 E354情報処理教室、E358CALL教室設備更新計画
千代田校 E棟情報処理自習室群更新工事及び4Fラウンジパソコン新設工事
千代田校 大学校舎A棟視聴覚教室3教室（A450・A453・A464教室）視聴覚設備更新
多摩校 7号館 小講義室及びゼミ室 内線電話設置

システム管理グループ

件 名
Microsoft 包括ライセンス更新（事前着手申請）
LDAP Manager（統合認証システム）のバージョンアップ
ICカード発行システム更新
【情報戦略会議 無線LAN検討WG】2021年度無線LAN導入
第二次管財業務システム化

■ 予算案／決算報告

単位：円

費目	部署	図書館グループ		メディア教育開発グループ		総合情報センター	
		予 算	決 算	予 算	決 算	予 算	決 算
機 器 ・ 備 品 費		1,000,000	1,978,680	8,500,000	7,488,324	9,500,000	9,467,004
消 耗 品 費		2,062,000	1,300,796	4,358,000	5,086,311	6,420,000	6,387,107
修 繕 費		230,000	198,000	200,000	0	430,000	198,000
雑 費		440,000	404,511	250,000	197,130	690,000	601,641
ソ フ ト 費		0	0	350,000	449,680	350,000	449,680
通 信 費		180,000	39,008	100,000	62,821	280,000	101,829
印 刷 ・ 製 本 費		700,000	469,830	100,000	0	800,000	469,830
委 託 費		1,400,000	1,325,500	420,000	217,800	1,820,000	1,543,300
予 算 戻 り 分		0	0	▲ 300,000	▲ 159,687	▲ 300,000	▲ 159,687
計		6,012,000	5,716,325	13,978,000	13,342,379	19,990,000	19,058,704

注) 上表のうち決算は、令和4年5月30日から6月2日にかけて文書協議にて開催された総合情報センター運営委員会にて承認された。

■ 令和4年度 部門計画予算（配賦外）申請

第2回総合情報センター運営委員会にて、令和4年度部門計画予算（配賦外）申請案として、図書館グループは2件、メディア教育開発グループは7件（千代田7件（うち3件は中期計画に関するもの）、多摩0件）、システム管理グループは4件の申請を行った。申請した全てが令和4年度部門計画予算（配賦外）案として承認された。

図書館グループ

順 位	件 名
1	多摩校 図書館 4階第2閉架書庫 サーキュレーター設置工事
2	多摩校 図書館 入退館ゲート更新及び入館認証システム導入

メディア教育開発グループ

順 位	件 名
千（中期 AP1）	千代田校 H 棟情報処理教室群 3 ヶ年更新計画（1 年目）
千（中期 AP2）	全学共通教育系認証サーバ及び全学共通教育系ファイルサーバ更新計画
千（中期 AP3）	千代田校 大学校舎 A 棟視聴覚教室 3 教室（A557・A653・A655 教室）視聴覚設備更新
千 1	千代田校 E 棟情報処理自習室群及び E354 情報処理教室・E358CALL 教室年間保守契約
千 2	千代田校 大学校舎 A 棟視聴覚教室 3 教室（A450・A453・A464 教室）年間保守契約
千 3	Zoom サービス年間使用料（新型コロナウイルス対策経費）
千 4	千代田校 D 棟スタジオ（ゼミ室）改修計画

システム管理グループ

順 位	件 名
1	SINET 6 移行に伴う回線切替
2	2021 年度無線 LAN 導入
3	教務システム更新
4	教務システムミドルウェア保守費用値上げに伴う予算増額申請

2 総合情報センター年報 第13号（令和2年度）e-Book（電子書籍）形式にて発行

3 総合情報センターホームページ維持・管理

4 大妻女子大学学術情報リポジトリの維持・管理

トピック

■ 千代田校図書館 貴重書庫設置工事

貴重書を適切な環境で保存するため、調湿機能付キャビネット4台を図書館事務室および旧ホストコンピュータ室に設置し、金庫、貴重書庫に分けて配架してある貴重書を移設した。貴重書移設後の貴重書庫には、撥水加工を施した保存箱を嵌め込み、スプリングラネーによって万一の際の二次被害（水損）がないよう対策した上で準貴重書を移設する。

■ 千代田校図書館 個人ブース整備

3階北側に、パーテーションで仕切られた座席12席を設置した。他の個人ブースと違い利用手続き不要のため、学生が自由に利用している。

■ 千代田校図書館 3階開架書架 書架照明交換工事

書架照明がLED化され、明るく、本の背の文字も見やすくなった。照明のLED化により、節電および二酸化炭素排出量削減の効果も見込まれる。

■ ディスカバリー・サービス “Summon” の導入

図書館が提供する様々なリソースを、同一のインターフェイスで一括検索できるサービスを “Otsuma Search” として導入し、契約リソースの他、オープンアクセス資料、図書館所蔵資料も同時に検索、提供できるようになった。

■ 千代田校図書館 個室型ワークブース「テレキューブ」の導入

4階東側に、オンライン授業や就職活動でweb面接を受ける学生のために、個室型ワークブース「テレキューブ」を大・小1台ずつ設置した。10月25日の設置以降、オンライン授業で45回、web面接など、就職活動で207回、自習のために7回利用された。

■ 多摩校図書館 グループ学習エリアの設置

3階閲覧室の一角に可動式机20台と椅子20脚を設置し、学生のグループ学習に適した環境を整備した。

業務報告

新型コロナウイルス感染症の影響で短縮開館となったが、配送貸出、貸出期間の延長、電子図書の充実などの対応を行った。クラス、ゼミ単位の見学ツアー、文献検索ガイダンスは、授業の実施状況や教員の要望に合わせて、対面またはオンラインで実施した。

ブックハンティング（選書会）や、ラーニングコモンズ・イベントもオンラインで実施するなど、コロナ禍でも、学生のための学習支援、図書館への興味を喚起するイベントなどのサービス提供に努めた。

1 開館日数・時間

		千代田校	多摩校
開館日数		283 日	250 日
開館時間 授業のある日	月～金曜	8:45 ～ 20:00	9:00 ～ 18:30
	土曜	9:00 ～ 17:00	9:00 ～ 17:00
開館時間 授業のない日	月～金曜	9:00 ～ 17:00	9:00 ～ 17:00
	土曜	9:00 ～ 15:00	休館

※新型コロナウイルス感染状況、授業の実施状況に合わせて短縮開館実施

2 利用指導

- 1) 1年生図書館見学ツアー（クラス単位・ゼミ単位） 千代田校 対面14回・オンライン5回 多摩校 オンライン2回
- 2) 2～4年生文献検索ガイダンス（ゼミ単位） 千代田校 対面42回・オンライン13回 多摩校 対面11回・オンライン2回
- 3) レファレンス
- 4) Otsuma Search（ディスカバリー・サービス）講習会（オンライン）

3 業務・展示記録

新型コロナウイルス感染症の影響で学生向けイベントの実施は難しかったが、「オンラインブックハンティング」、「雑誌選抜総選挙」で学生から図書・雑誌の購入リクエストを受け付け、学生目線で選ばれた資料を蔵書に反映した。

日 付	業 務・展 示	キャンパス
令和2/2/28～令和3/5/18	《展示》「おもちゃ」のアイデア プレゼンシート&モデリング作品展(ライフデザイン学科「プロダクトデザイン演習」)	千代田
6/29～7/30	《展示》地図で妄想旅	千代田
7/8～8/31	《展示》社会・臨床心理学基礎セミナー「絵本のワーク」POP展 1期・2期（展示替えあり）	多 摩
10/12～11/12	大妻女子大学博物館特別展「大妻女子大学日本文学関係貴重書展示 メディアの変遷—近世近代を通底する—」へ資料貸出	千代田
11/10～11/11	《展示》「大妻女子大学蔵本で読むくずし字」原典 特別展示	千代田
11/24～12/4	《企画》「オンラインブックハンティング」（選書会）の実施	千代田・多摩
11/30～令和4/1/14	《展示》年中行事絵巻	千代田
12/13～令和4/1/21	《展示》新聞ファイル（図書館学課程『学校経営と学校図書館』）	千代田
1/17～1/29	《企画》2021年度 雑誌選抜総選挙 <千代田校>	千代田
1/19～2/4	《企画》2021年度 雑誌選抜総選挙 <多摩校>	多 摩
1/26	《講習会》Otsuma Search(ディスカバリー・サービス)講習会（オンライン）	千代田・多摩

4 ラーニングコモンズ・イベント

初めてオンライン形式で開催した。そのため、対面時にはなかった多摩校職員の参加も見られた。

	日時	タイトル	講師
第 1 回	7 月 3 日 (土) 14:30 ~ 15:30	連続企画 初心者でも楽しくピラティス! 第 1 回 骨 ~目印の骨を探そう~	日本文学科・国文科 助手 海老原有希 氏
第 2 回	10 月 16 日 (土) 14:30 ~ 15:30	連続企画 初心者でも楽しくピラティス! 第 2 回 呼吸 ~呼吸のしくみ~	
第 3 回	11 月 13 日 (土) 14:30 ~ 15:30	連続企画 初心者でも楽しくピラティス! 第 3 回 腕 ~理想の動きで肩こり解消~	

5 新型コロナウイルス感染症に関する対応

- 1) 配送による図書貸出 (学生、大学院生対象) 千代田校 23 件 42 冊 多摩校 6 件 17 冊
- 2) 学外からの各種データベース利用支援、リモートアクセスツール「EZproxy」利用コンテンツ追加
- 3) 図書館利用案内動画を YouTube で配信

6 施設・設備の維持管理

新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部座席の利用を制限した。

座席数 (パソコン席を含む)

千代田校 471 席 (うち使用座席 242 席) パソコン (学生用) 千代田校 40 台 (うち使用パソコン 38 台)
多摩校 334 席 (うち使用座席 164 席) 多摩校 6 台 (全て使用可)
館内貸出ノートパソコン 千代田校 10 台 / 多摩校 2 台

7 統計

- 1) 図書・電子ブック所蔵数

単位: 冊

	千代田	多 摩	図書計	電子ブック
和 書	185,506	143, 553	329,059	1,564
洋 書	42, 661	40, 022	82,633	64
計	228,117	183,575	411,692	1,628

※製本雑誌を除く

電子ブックは、現在 5 つのプラットフォームで提供している。

教養図書: ライブラリエ (和書)

教育・研究用図書:

KinoDen / Japan Knowledge Lib (和書)

Maruzen eBook Library (和書・洋書)

ProQuest Ebook Central (洋書)

- 2) 図書・電子ブック受入数

受入数には、オンラインブックハンティング (選書会) で学生に選ばれた和書 84 冊、電子ブック (和書) 1 冊が含まれる。

電子ブックは、ライブラリエで 286 冊、Maruzen eBook Library で 31 冊、KinoDen で 280 冊、ProQuest Ebook Central で 3 冊を購入した。

単位: 冊

	図 書							電子ブック	
	和 書	洋 書	消 耗		千鳥会		計	和書	洋書
			和書	洋書	和書	洋書			
千代田	1,943	101	613	4	346	0	3,007	597	3
多 摩	361	8	491	0	112	5	977		
計	2,304	109	1,104	4	458	5	3,984	597	3

※受入数には寄贈数を含む

- 3) 図書受入数推移

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた昨年度から図書の購入を控え、代わりに学外から利用できる電子ブックを購入した。

単位: 冊

		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
和 書	千代田	3,825	3,748	3,742	2,598	2,902
	多 摩	1,186	987	907	755	964
	電子ブック			206	625	597
	計	5,011	4,735	4,855	3,978	4,463
洋 書	千代田	491	231	377	627	105
	多 摩	112	11	18	5	13
	電子ブック			87	0	3
	計	603	242	482	632	121
合 計		5,614	4,977	5,337	4,610	4,584

※製本雑誌を除く

図書館グループ 業務報告

4) 視聴覚資料所蔵数

単位：点

	視聴覚資料
千代田	4,286
多摩	3,708
計	7,994

5) 視聴覚資料受入数

単位：点

	CD	DVD	ブルーレイ	計
千代田	0	93	0	93
多摩	0	5	0	5
計	0	98	0	98

6) 所蔵逐次刊行物タイトル数

単位：種

	千代田	多摩	タイトル計
和雑誌	3,690	1,358	4,624
洋雑誌	773	863	1,452
計	4,463	2,221	6,076

※タイトル計は重複を除く

7) 継続購入逐次刊行物受入数

単位：種

	千代田	多摩	タイトル計
和雑誌	402	139	477
洋雑誌	198	21	215
計	600	160	692

※タイトル計は重複を除く

8) 入館者数推移

単位：人

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
千代田	52,486	54,743	57,608	5,105	22,815
多摩	33,304	26,391	23,109	511	12,766

9) 貸出冊数推移

年 度	千代田		多摩		電子ブック	
	冊 数	人 数	冊 数	人 数	冊 数	人 数
平成29年度	25,718	13,239	11,072	5,767		
平成30年度	25,771	13,522	9,202	4,909	1,435	470
令和元年度	26,333	14,247	8,238	4,464	1,891	449
令和2年度	5,867	2,285	1,267	564	4,879	2,079
令和3年度	13,646	6,537	3,653	1,750	4,030	1,852

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の令和元年度と比較すると、入館者数は約44%、貸出冊数は約50%であるが、昨年度と比べれば回復傾向にある。年間を通して開館できたこと、対面授業が増え、大学に来る学生が増えたことが要因と思われる。またオンラインによる図書館ガイダンス、イベントなどを新たに実施したことで学生の図書館利用を促すことができた。

DVD利用は令和元年度より減っているが、今年度は主に、授業の課題に取り組むために利用された。

10) 視聴覚資料利用点数

単位：点

	ビデオテープ	CD	DVD	ブルーレイ	計
千代田	2	0	104	1	107
多摩	1	0	13	1	15

11) 逐次刊行物利用統計

	所 属	冊 数	人 数
千代田	家政学部	52	27
	文学部	442	220
	社会情報学部	208	21
	比較文化学部	23	17
	短期大学部	15	7
	人間関係学部	11	6
	大学院	115	39
	教職員	377	132
	その他	26	8
	計	1,269	477

	所 属	冊 数	人 数
多摩	人間関係学部	24	16
	千代田	0	0
	大学院	9	6
	教職員	30	19
	その他	0	0
	計	63	41

合 計	1,332	518
-----	-------	-----

※バックナンバーのみ

※その他には中高教員・非常勤教員・名誉教授を含む

メディア教育開発グループ トピック／業務報告

トピック

メディア教育開発グループでは、全学の情報メディア関連施設・設備（視聴覚関連教室、語学関連教室〔CALL／LL教室〕、情報処理関連教室、情報処理関連自習施設）及び授業用情報システム（各種サーバ、教育系ネットワーク）の維持・管理・運用を行っている。また、それらを利用して行われる授業や学生の主体的学習が効率的かつ効果的に行われるように支援もしている。なお、AV機器やPC、ネットワーク利用などに関する教員・学生からの問い合わせ（学生指導含む）については、ヘルプデスク業務として対応している。この他、教材制作業務として、主に視聴覚教材の制作及び制作支援、各種素材のデジタル化などを行っており、具体的には、映像収録・編集、PC再生用の映像・音声データ制作、紙原稿・スライドなどのデジタルデータ化、データ変換、ポスター・掲示物他の大判印刷などを行っている。

本年度は千代田キャンパスにて中期計画アクションプランの実行に当たり、情報処理教室（1室）、CALL教室（1室）、情報処理自習施設（3箇所）、視聴覚教室（3室）の改修を行った。情報処理教室やCALL教室には教員や学生が使用するPCの他に授業支援システムを導入しており、教員用のPCから学生の学習状況を確認したり、直接学生用のPCを操作したりできるようになっている。このシステムは複数のメーカーから発売されており、そのメーカーによって機能や操作性に差異がある。また、たとえ同じメーカーであったとしても、ランクやバージョンによって仕様が異なる場合もある。本学では教員が授業ごとに異なる教室を使用する可能性があるため、当方が管理する情報処理教室やCALL教室に於いては、前述の状況を踏まえ可能な限り機能や操作性を共通化して整備するよう心がけている。情報処理自習施設としては、情報処理自習室や共用スペースのパソコンコーナーを挙げることができるが、これらの施設に整備するPCは情報処理教室のPCよりも稼働率が高いため、耐久性に優れたものを選定するようにしている。視聴覚関連の教室については、情報処理関連の教室と比べ格段に数が多い（約100室）ため、授業を担当する教員がどの教室を使用しても違和感を覚えることの無いよう、使用可能なソースメディアや操作性を可能な限り共通化して整備するよう努めている。たとえば千代田キャンパスに於いては、どの教室を使用する場合でもセレクトボタンは一番左が『教材提示装置（書画カメラ／OHC）』から始まるような配置となるよう整備を行っている。

多摩キャンパスでは、小規模講義室とゼミ室に内線電話を設置した。定員が100名以上であるようなAV機器整備済の講義室に関しては、以前から教室に内線電話が設置されており、授業中の機器取扱説明や故障対応を依頼する際に利用されてきたが、定員が100名に満たない小規模の講義室やゼミ室に関してはこれまで内線電話が設置されていなかったため、それらの教室を利用する教員にとってはかなり不便な状況であった。しかしながら、新たに内線電話を設置することを計画し、これを実施することができたため、授業中の機器取扱説明や故障対応の依頼が必要となる場合には、利用者の利便性が格段に向上した。

事務局が担当する課外講座として平成13年度に多摩キャンパスで開始した「課外英語力強化プログラム」は、平成14年度にメディア教育開発センターの前身である情報メディアセンターへ引き継がれ、多摩キャンパス及び狭山台キャンパス（当時）の2キャンパスに於ける実施へと拡大した後、平成15年度からは千代田キャンパスに於いても実施されることとなり、最終的には全キャンパスにて実施されることとなった。その後の組織改編によって平成20年度からメディア教育開発センターが講座の運営業務を引き継ぐことになったが、平成26年度には狭山台キャンパスの利用停止に伴って同キャンパスに於ける本プログラムの実施を終了することとなり、平成29年度にはその翌年度から多摩校に於いてTEP（Tama English Program）が開始されることを受け、同キャンパスに於ける本プログラムの実施を終了することとなった。その後メディア教育開発センターは千代田キャンパスのみで講座の運営業務を担当してきたが、令和4年度以降は当該業務を国際センターへ引き継ぐこととなったため、本年度を以って20年間にわたる講座運営業務を終了することとなった。

業務報告

■ 授業支援関連業務

① 情報処理・語学関連教室（情報処理教室、CALL教室など）における授業への支援

- 統合認証システム（ADサーバ）、教育系ファイルサーバ（共通・社会情報学部）の設計、維持管理、運用
- 情報処理・語学関連教室施設・設備の設計、維持管理、運用
- プリント履歴システムの設計、維持管理、運用
- 情報処理教室等利用アカウントの発行、管理及び教員貸出用大妻Webメールアカウント管理
- 教員、職員、学生などに対する情報処理・語学関連教室施設・設備に関する取扱説明
- 教員、職員、学生などへ向けたMicrosoft365の利用サポート、広報及びKOTAKA-WiFi関連取扱説明、利用サポート他
- 情報処理関連教室更新10か年計画策定
- 情報処理関係科目（全学共通科目）担当授業補助員のリクルート及び労務管理（千代田）
- 授業補助員向け情報処理授業補助研修会の企画・実施（千代田）
- 教員用「情報処理教室利用の手引き」作成（千代田）、教員用「実習室利用の手引き」作成（多摩）
- 情報処理関連教室、情報処理自習室ホームページ（教室利用の手引き）更新（千代田）、実習室ホームページ更新（多摩）
- 新入生対象パソコン基礎講習会の企画・実施（千代田）

② 視聴覚関連教室（教職実践演習室、アクティブラーニング室、アクティブラウンジを含む）における授業への支援

- 視聴覚関連教室施設、設備の設計、維持管理、運用
- 教員、職員、学生などに対する視聴覚関連教室施設・設備に関する取扱説明
- 視聴覚関連教室更新10か年計画策定
- オンライン授業実施支援（取扱説明、機器貸出など）

③ 遠隔授業（除くオンライン授業）・教室間中継などに関する支援（必要に応じて操作サポート実施）

- 遠隔授業：千代田校（A155、E055教室） ↔ 多摩校（7114、7127教室）【26件／年】
- 教室間中継：千代田校（対応教室 講堂、A棟1、2F、E棟B1及び4F、F棟3～7F）【21件／年】
多摩校（対応教室 7号館1階7127教室、7114教室）【1件／年】

メディア教育開発グループ 業務報告

④ 普通教室、実験・実習室などにおける授業への支援

- 視聴覚機器の貸出し・操作説明など
- 各学部・学科が所有する実験・実習室内に設置された視聴覚機器不具合の一次対応
- オンライン授業実施支援（取扱説明、機器貸出など）

⑤ スタジオ（千代田校D517スタジオ・D518ゼミ【サブコン】室）を利用する授業、研究の支援

- スタジオ設備の設計、維持管理、運用、更新
- スタジオ利用授業における機器操作説明（教員・TA）、機器貸出し

■ ヘルプデスク（情報メディア環境を利用した教育・学習活動への支援）関連業務

- PC、ネットワーク関連他周辺機器、AV機器などに関する操作説明、設定及び不具合対応（個人研究室無線AP設定サポートなど含む）
- 各種アプリケーションソフト（Microsoft Office、Adobe Creative Cloud他）に関する導入支援、不具合対応など
- 学内システムなどに関連する不具合などについての対応
- AV・PC機器利便性向上に関するコンサルティング
- オンライン授業で利用するサービス（Zoom、Meet、YouTube連携など）に関する利用支援、コンサルティングなど

■ 授業以外への機器貸出し・操作説明などに関する業務

- 学内・学外団体関係（学会、講演会、講習会など）
- 事務局関係（入学式、卒業式、オープンキャンパス、地域貢献イベント、各種ガイダンス、入試関係、文化祭など）

■ 情報処理自習室の維持・管理及び学生指導などに関する業務

- 自習室など年間利用者数（延べ） 千代田校：17,600名 多摩校：3,472名

■ 視聴覚及び情報処理関連施設、設備の維持管理、運用に関する業務

- 管理施設・設備
千代田校：視聴覚教室（98室）、情報処理関連教室（12室）、CALL／LL関係教室（3室）、アクティブラーニング（AL）室（1室）、大学院生室（1室）、大学院ミーティング室（1室）、教職実践演習室（1室）、スタジオ・ゼミ室（1室）、情報処理自習室（2室）、パソコンコーナー（5箇所）、アクティブラウンジ（1箇所）、AL用端末（110台）
多摩校：視聴覚教室（42室）、情報処理関連教室（3室）、TEP教室（8室）、情報処理自習室（1室）、AL用端末（ワゴン収納）
- 保守関係
千代田校：視聴覚関連教室、情報処理教室、CALL教室、情報処理自習室、PCコーナー、スタジオ・ゼミ室、AL室
多摩校：視聴覚関係教室、情報処理関係教室、情報処理自習室、AL用端末
- 工事関係
千代田校：部門計画予算（配賦外）（3件）、稟議（1件）
多摩校：部門計画予算（配賦外）（1件）

■ 教材制作関連業務

- 教材制作の内容
映像・音声関連：撮影、編集、BD・DVD化、映像データの作成など、録音、整音、CD化、オーディオデータの作成など
その他教材など：大判印刷（A0、A1、立て看板印刷など）、静止画撮影、補正、修正、紙原稿・スライドなどの加工、編集、デジタル化、メディア変換、作成、マークカード処理、オリジナル提示教材の制作など
- 教材制作に関する技術的支援
教材を作成するソフト・機器などに関する導入支援、操作説明及び教材提示方法に関する相談対応・支援
- 各学部・学科などから依頼された主な教材の制作数
千代田校：映像関係（405本）、音声関係（1本）、大判印刷関係（162枚）、その他（303件）
多摩校：映像関係（78本）、音声関係（0本）、大判印刷関係（9枚）、その他（0件）

■ 補完教育関連業務

① 課外英語力強化プログラム（千代田校）

本プログラムは学生が授業の合間に1日1コマ（40分）、週5日（月～金：年間100回）のレッスンを受講する形式で、レッスン以外にも講師と会話を楽しめるようEnglish Challengeの時間を設けるなど、自由度の高いものである。レッスンは双方向の活動を中心とした少人数のグループ形式で、会話に日本語の使用を禁止するなど、受講生が英語で話すことに集中できるよう様々な工夫がなされている。

本年度は、英語を母語としない人に対する英語教授資格（TESOL、TEFL、CELTAなど）を有するイギリス・カナダ出身者が講師を担当したが、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発出などに伴いオンライン開講とせざるを得ない期間もあった。前年度は前期末開講に伴い実施が見送られたが、今年度は従前通りグローバル人材育成支援を目的とし、出席率80%以上の受講生に対し受講料補助がなされた。また、成績優秀者に対しては、次年度特待生（テキスト代のみで講座受講可）の権利が与えられた。

- 本年度受講者・受講料補助対象者・特待生の権利取得者の数（※令和2年度は特待生の選出を行っていない）
受講者数（131名（継続者数19名、うち本年度特待生0名※））、受講料補助対象者（88名）、次年度特待生の権利取得者（16名）

メディア教育開発グループ 業務報告

② 課外パソコン講習

近年、文書作成やプレゼンテーション、また、コミュニケーションツールとしてPCを利用することは日常化しており、企業は学生に対し在学中に最低限のPCスキルを習得しておくよう求めている。しかしながら、PCに関する知識やスキルを体系的に学び習得している学生数は限られており、現在はこれが大きな問題となっている。このため、本講座は学生に情報処理知識やPCスキルを習得させると共に認定資格を取得させることを目的に実施されている。授業は平日の夕方や土曜日、夏季・春季などの長期休暇中に学内で実施されるため、学生は正課授業に支障をきたすことなく受講できる。なお、本講習では各講座の最終回に試験を実施し、合格者には認定団体より認定書を発行している。ただし、ITパスポート講座及び基本情報技術者講座は国家試験であり、試験実施日程を本学にて指定することができないため、この例外となる。

本年度は、MOS試験対策講座、ACA試験対策講座、Webクリエイター能力認定試験対策講座に加えITパスポート講座や基本情報技術者講座といった国家試験対策講座も企画したが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出などにより、一旦対面開講した講座をオンライン開講へ変更したことなどもあり、通常とは異なる対応を求められる場面もあった。千代田校では、体験受講を希望する学生や卒論作成前にWordやExcelの基礎を学びたいという学生に向けて無料のWord・Excel基礎講座を実施した。

- 本年度企画講座
MOS Wordスペシャリスト／エキスパート、MOS Excelスペシャリスト／エキスパート、MOS PowerPoint、ACA Illustrator／Photoshop、Webクリエイター能力認定試験スタンダード、ITパスポート、基本情報技術者
- 本年度開講講座数（オンライン講座は千代田校・多摩校共通開講）
千代田校：前期（7講座）、夏期（2講座［オンライン］）、後期（4講座）、春期（3講座［オンライン］）、通期（1講座）
多摩校：前期（2講座）、夏期（2講座［オンライン］）、後期（未開講）、春期（3講座［オンライン］）、通期（未開講）
- 本年度開講講座毎の受講者数及び資格取得者数［講座名（受講者数［名］、資格取得者数［名］）］
MOS Wordスペシャリスト（101, 88）／エキスパート（0, 0）、MOS Excelスペシャリスト（141, 120）／エキスパート（0, 0）、
MOS PowerPoint（9, 7）、Webクリエイター能力認定試験スタンダード（19, 18）、ITパスポート（37, 4）、基本情報技術者（17, 0）
- 本年度受講者数（延べ）
合計：336名（千代田：292名、多摩：44名、資格取得者：245名）※国家試験は合格を本学に報告した者のみ

■ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策関連業務

① 学生貸与PC関連（貸与総数：361台）

- 学生貸与PCの整備に関する業務（返却時の初期化作業など）
- 学生に対する対面・メールサポート業務（貸与PCセットアップ及びOffice系ソフトウェアセットアップなど）
- 学生貸与時の発送に関する業務
- 学生貸与PCのハードウェア故障修理対応に関する業務
- 未返却者（退学者含む）への連絡及び督促などに関する業務

② Zoomアカウント発行・管理関連（オンライン授業運営部会より管理・運用依頼受託）

- 法人契約締結（720アカウント）
- 学部などの依頼による追加オプション契約締結に関する対応
- 利用申請サイトの管理・運用
- アカウント発行（705アカウント：令和4年3月31日時点（内訳：専任教員243・助手40・非常勤教員344・事務職員75・管理用3））
- クラウド録画データ保存用ストレージの容量管理
- 対面、電話、メールによるZoom及び関連ソフトのユーザーサポート業務（438件（内訳：対面118件、電話116件、メール204件））
- 各種マニュアル作成
- Zoomを利用した講習会などの実施支援

③ 対面授業再開関連

- 視聴覚関連教室及び情報処理関連教室への対応
千代田校：空気清浄機・アクリル板・消毒用アルコール製品・掲示などの整備、情報処理教室などに対するヘッドフォン用音声変換コネクタの設置
多摩校：空気清浄機・アクリル板・消毒用アルコール製品などの整備、情報処理自習室の開放

■ システム管理グループ・メディア教育開発グループ協働関連業務

■ 情報戦略会議関連業務

■ 私立大学情報教育協会（私情協）関連業務

■ 補助金及び各種調査関連業務

■ 各種イベント関連業務

■ その他業務

- 入学式関係業務（舞台進行、進行台本確認、各種音源作成、記録撮影など）
- 令和2年度入学式関係業務（舞台進行、進行台本確認、各種音源作成、記録撮影など） ※大妻講堂にて2日間開催
- 卒業式関係業務（舞台進行、進行台本確認、各種音源作成、記録撮影など）
- オープンキャンパスサポート（視聴覚教室、情報処理教室利用サポート及びトラブル対応など）
- 入学試験関係（一般入試A方式Ⅰ期・Ⅱ期、大学入学共通テスト）
- 各種研修会などへの参加（オンライン開催）

システム管理グループ トピック／業務報告

トピック

■ 統合認証システムの更新（部門計画）

統合認証システムは約20のシステムからのユーザ認証で参照されるシステムであり、重要度は年々増してきている。そのため、今回の更新作業では単なるバージョンアップだけでなく、異なるクラウド基盤を利用することによって耐障害性を考慮した構成に変更した。

■ IC カード発行システム更新（部門計画）

ICカード発行システムは学生証、教職員証の発行に必要なシステムであり、今後も継続的なサポートを受けられるようにシステム更新した。

■ 無線 LAN 導入（部門計画）

無線LAN整備は優先順位の高い所から段階的に進めており、本年度は千代田校大学校舎B棟と一部の個人研究室に対して導入した。

■ メールシステム更新（Gmail への移行）

令和2年度の部門計画で実施したメールシステム更新について、教職員の旧メールシステムの利用期限を5月24日で案内しており、それに伴うデータ移行ユーザサポート、旧メールシステム停止作業、契約終了手続きなどを行い、Gmailへの移行作業を完了した。

■ ユーザがコタカネットへ接続するネットワーク機器の調査、機器貸出、ネットワーク切り替え

ネットワークループの防止、セキュリティ対策などのために、コタカネットへ接続するネットワーク機器はシステム管理グループから貸与することになり、令和2年度の部門計画でネットワーク機器を準備し本格的に切替作業を開始し、本年度も引き続きその切替作業を行った。

■ クラウド基盤およびクラウド基盤上ファイアウォールのバージョンアップ

本学院サーバ環境の中心的な役割を担うクラウド基盤（約60台の仮想マシンが稼働）について、今後もサポートを受けられるようにバージョンアップを実施した。このバージョンアップ作業には、仮想マシンの一つであるファイアウォールのバージョンアップも行う必要が発生し、影響範囲の大きな作業となったが無事に完了した。

■ 情報基盤整備計画書の位置付けや審査手順などを見直し

今まで情報戦略会議で実施してきた情報基盤整備計画書の制度を廃止し、新たに情報設備事前申請書の制度を設けることにした。情報設備事前申請書に関する業務は、情報戦略会議が総合情報センターに委任する形をとり、情報関連の部門計画予算申請を提出するにあたっての事前申請という位置付けにした。

業務報告

1 情報基盤の整備・管理・運用

- 1) 環境整備に関すること
 - メールシステム更新（Gmailへの移行）
 - 中野校の校務用サーバのクラウド環境構築
 - ユーザがコタカネットへ接続するネットワーク機器の調査、機器貸出、ネットワーク切り替え
 - 千代田校学部長室移転に伴うLAN配線変更の設計、設定変更
- 2) 保守に関すること
 - 基幹系ネットワーク機器定期メンテナンス
 - クラウド基盤およびクラウド基盤上ファイアウォールのバージョンアップ
- 3) 障害・インシデントに関すること
 - Web統合認証サービス（WisePoint）の障害対応（1/7～1/12発生、設定ファイルの不具合）
 - WEBサーバ障害対応（年間2件発生、外部委託先業者側での障害）
 - 不正ログイン疑いの対応（2件）
- 4) その他運用に関すること
 - 各種申請書（アカウント発行、メール関連、IPアドレス発行、無線AP借用、ネットワークハブ借用、WEBサーバデータ管理者）の処理
 - 人事情報に基づく教職員アカウント処理、学籍情報に基づく学生アカウント処理
 - システム設定変更依頼に基づくシステム設定変更
 - 個人研究室無線APの暗号化キー年次更新
 - WEBサーバなどのSSL証明書更新

システム管理グループ 業務報告

2 教務系・法人系基幹システムに関する業務及びインフラの整備・管理・運用

- 教務システム（GAKUEN/UNIPA）の予算管理、サーバ管理
- 会計／学納金／固定資産／予算管理／研究費管理システムの予算管理・サーバ管理
- 会計監査に伴うシステム監査対応
- GAKUEN/UNIPA RXシリーズへのグレードアップに関する検討および配賦外予算申請
- 会計／学納金／固定資産／予算管理／研究費管理システムサーバのバックアップソフトウェアアップデート
- 教務システムのサーバ（5台）のWindowsアップデート作業
- 各サーバのSSL証明書更新

3 事務職員向け情報環境に関する業務

- 事務職員向けPC（約300台）及びソフトウェアの管理
- 各種申請書（パソコン使用願、ソフトウェア利用申請書、DocuShare利用申請書、USBメモリ関連申請書）の処理
- 人事異動に伴う所属変更処理、レイアウト変更に伴うLAN配線
- プリンタ機器交換に伴う設定変更作業
- 駅すばあと月次更新
- 持出し用USBメモリの棚卸し（年2回実施）
- 駅すばあとサーバ更新
- 事務職員向けPC更新検討

4 各種システムのサーバなどの整備・管理・運用支援

- 研究者データベースのサイト移行支援
- 求人ナビのFTPサーバ変更に伴う設定変更
- システム間連携におけるmanabaへの連携項目変更

5 学校法人大妻学院情報戦略会議規程に基づく庶務

- 情報戦略会議開催（4回、全て文書協議）
- 情報戦略委員会開催（4回、全て文書協議）
- 情報基盤整備計画書に関する業務（令和4年度詳細30件、令和5年度概略12件）
- 令和4年度入学生向けに大学が推奨するパソコンの仕様を決定
- 大妻Googleアカウント活用検討ワーキンググループにおいて、Google JamboardとGoogle Dictionaryの機能を有効化することを決定
- 情報基盤整備計画書の位置付けや審査手順などを見直し
- BYOD検討ワーキンググループを解散

6 ライセンス管理、各種調査、その他

1) ライセンスに関すること

- マイクロソフト社、アドビ社、トレンドマイクロ社のライセンスの管理、更新手続き
- 各種申請書（Microsoft、AdobeCC）の処理
- 教職員・学生のMicrosoft365ライセンス付与更新（4月および随時）
- 千代田中高、多摩中高生徒用Microsoft365アカウント連携

2) 各種調査に関すること

- 東京都私立短期大学実態調査（6月、東京都私立短期大学協会）
- 令和2年度コロナ禍における短期大学の取り組み調査（6月、日本私立短期大学協会）
- 学術情報基盤実態調査（10月、文部科学省）

7 部門計画の実施

- 統合認証システム更新
- ICカード発行システム更新
- 無線LAN導入（千代田校B棟、一部の個人研究室）

8 新型コロナウイルス対策関連業務

- 事務職員のテレワーク環境整備

総合情報センターの沿革

年度	館長及び所長	図書館グループ	メディア教育開発グループ	システム管理グループ	学 院
平成20年度	所長 栗原裕 (平成20年4月～)	将来構想検討委員会の答申に基づき「情報メディアセンター」と「図書館」が合併改組される。 [計算機部門]の一部と[教材制作部門][学習支援部門]は[メディア教育開発グループ]となる。 また計算機部門業務の一部はIT化推進室と統合され事務局に新設された「システム管理室」 となる。 「総合情報センター」設立 [千代田校・狭山台校・多摩校 図書館グループ] [千代田校・狭山台校・多摩校 メディア教育開発グループ] 「システム管理室」設立			大妻学院創立 100 周年
平成21年度		9月 CALISシステムから新システムE-CatsLibraryへ移行			
平成22年度		ラーニングコモンズ利用開始	アカウント統合管理システムにADサーバ組み入れ		
平成23年度		ラーニングコモンズリニューアル 備品交換・持ち込みパソコンのインターネット接続環境整備			
平成24年度		千代田校 AV・情報メディアルームリニューアル			
平成25年度		5月 文系共同図書室 本館E棟8階に移転 千代田校 入退館システムリニューアル 12月 狭山台校2階グループ学習コーナー設置、1階エントランスレイアウト変更	学習支援システム(LMS)「manaba」利用開始		千代田校本館E棟及び別館J棟竣工
平成26年度		9月 多摩校メディアルームリニューアル 1月 狭山台校分館閉館			千代田校本館F棟竣工 狭山台校閉校
平成27年度		事務組織の変更に伴い、総務センターシステム担当部署は総合情報センター事務局と合併した。 総合情報センター事務局は、「図書館グループ」、「メディア教育開発グループ」、「システム管理グループ」の3グループとなった。			
平成28年度	所長 大澤清二 (平成28年4月～)	3月 狭山台校図書館・保存書庫所蔵図書 多摩校3号館に移設			千代田校大学校舎G・H棟竣工 比較文化学部千代田校へ移転(1年次生)
平成29年度					千代田校大学校舎K棟運用開始 比較文化学部の千代田校移転完了 社会情報学部千代田校へ移転(1年次生)
平成30年度		9月 千代田校 AV・情報メディアルームリニューアル			大妻学院創立 110 周年 社会情報学部の千代田校移転完了
令和元年度					
令和2年度	所長 山倉健嗣 (令和2年4月～)				各種新型コロナウイルス感染拡大防止対策実施 オンライン授業(ハイブリッド/ハイフレックス含む)実施
令和3年度					

※ 平成20年度以前の沿革については、第7号以前の年報を参照のこと。

総合情報センター運営委員

(敬称略)

総合情報センター	所 長	山 倉 健 嗣
家 政 学 部	学 部 長	市 川 博
		中 川 麻 子
		金 田 卓 也
文 学 部	学 部 長	五十嵐 浩 司
		杉 浦 静
		村 里 好 俊
社 会 情 報 学 部	学 部 長	藤 村 考
		松 本 早野香
		黒 沼 吉 弘
人 間 関 係 学 部	学 部 長	福 島 哲 夫
		本 田 周 二
		上 野 優 子
比 較 文 化 学 部	学 部 長	佐 藤 円
		銭 国 紅
		武 田 千 夏
短 期 大 学 部	学 部 長	松 木 博
		竹 内 知 子
		中 山 愛 理
大学院 人間文化研究科	研究科長	堀 江 正 一
所 長 委 嘱 委 員		—
事 務 局	事務局長	鈴 木 勉
教 育 支 援 セ ン タ ー	部 長	杉 田 学
学 生 支 援 セ ン タ ー	部 長	小 川 雅 之
多 摩 事 務 部	部 長	石 坂 和 弘

総合情報センター事務局	部 長	後 藤 隆 尚
図 書 館 グ ル ー プ	課 長	長 島 千穂子
メディア教育開発グループ	課 長	桒 湊 富士子
システム管理グループ	課 長	桒 湊 富士子
多摩総合情報センター	課 長	岩 橋 正 樹

(任期：令和3年4月1日～令和4年3月31日)



大妻女子大学 総合情報センター年報 第14号（令和3年度）

令和4年10月31日発行

編集・発行 大妻女子大学 総合情報センター

千代田キャンパス

〒102-8357 東京都千代田区三番町12番地

TEL 03-5275-6013（図書館）

TEL 03-5275-6085（メディア教育開発センター）

TEL 03-5275-6091（システム管理グループ）

多摩キャンパス

〒206-8540 東京都多摩市唐木田2丁目7番地1

TEL 042-372-9116（図書館）

TEL 042-372-9112（メディア教育開発センター）

TEL 042-339-0033（システム管理グループ）